

「致良知」、「五事を正す」、「敬愛」などのぱっと見ただけでは分からない事を藤樹先生の勉強で意味がよく分かって、藤樹先生はこんなむずかしい文を作ったのだなあとすぐくかんしんしました。わたしも藤樹先生のように文を作ってみたいです。

「私の思い」

島本 ゆな

▼立志祭に参加して▲

これからもしつかりと人のことを考えて、たくさんの人を助けたいと思います。あと、人にやさしい言葉で言って、人によくない思いをさせないようにしたいと思いました。

▼藤樹先生から学んだこと▲

貌(ぼう)―顔のかたち、和やかな顔つきで人と接し、言(げん)―言葉つかい、視(し)―まなざし、聴(ちよう)―よく聞く、思(し)―思いやり、という五事を正すやたくさんのお話を学びました。



【今津東小学校】

「私の志」

神田 心和

わたしは、将来看護師さんになって病人を助けて、笑顔いっぱいになってほしいです。理由は、たくさん苦しい人、辛い人や笑顔がなくなると悲しくなったりする人がいるので、そんな人を早く助けてあげてスマイルになってほしいと思っただけからです。そのほかに、だれか知っている人が病気になるったり、困っている人にどうしたら楽に生活できるか、何を食べたら健康になるか、どの薬を飲めばいいかとか、病気になるっていい時は何をすればいいかなど、役立つ事を言ってあげると、一人でもできるし、やる事ができて元気になってほしいから、将来看護師さんや、できればお医者さんになりたいです。

そのために藤樹先生の教えにもあるように五事を正すの貌なら人前で笑顔でいて人の心をみがくように心がけていたり、言なら人をききつけないような言葉づかいをします。知行合一なら、誰かに言われる前に、時間を守って行動したいです。

そして多くの患者さんの命をすくいたいです。自分を信じてまっすぐに前に進みます。

夢をかなえるために。

「私の志」

角 悠梨

私は、将来ネイリストになって、みんなの爪をキレイにして世界中の人の心をキレイにしたいです。

みんなが爪を見るたびに、「キレイだなあ」と思って、私もこんど行ってみようかなあという気もちだけでももってほしいと思っています。私は、さいきんことばづかいがあらいで、人にせつする時に思いやりのあることばをつかい、なかつにいつも人前でにこやかに話しかけたいです。

そのゆめをかなえるために、思いやりのあることばを伝えるようになって、大学にいったらいいネイリストの勉強をがんばりたいと思っています。

これで、私の志のはつぴようをおわります。ありがとうございます。



「私の志」

鳥居 柊

ぼくは、しょうらい楽器屋になって物をいっぱい売りたいです。なぜなら、お父さんたちが楽器を売っているのがおもしろいからです。そのためには楽器をひけたり、楽器のしゅるいを全部おぼえたりすることだと思っています。他にはとうじゆ先生の「五事を正す」の「貌」と「視」をがんばろうと思います。「貌」の意味はやさしい顔つきです。「視」はやさしい目です。ぼくはそれがあんまりできていないと思うので、それをいしきしていききたいです。

他には、いろいろくふうをしていきたいです。楽器を買ってくれたら、くじ一まいプレゼントをしたりしたいです。会ぎの時は、考えたり、思ったりしているだけでは何もかわらないというのがとうじゆ先生の教えです。よいと思っただけをはずかしがらずに行動できるようなしていきたいです。

「私の志」

中村 瑞

私はしょうらい保育士さんになって、子どもたちとふれ合いたいと思います。そう思ったきつ